

公益社団法人化学工学会 粒子・流体プロセス部会
2013年度年会幹事会・総会議事録

日時：幹事会 2014年3月17日 11:30～13:00
総会 14:00～15:00

会場：岐阜大学サテライトキャンパス 多目的講義室（大）

幹事会出席者：上ノ山、梶原、後藤、本間、吉川、太田、野田、松隈、西岡、島田、福井、鈴木、大河原、岩田、加納、仁志（順不同、敬称略）

総会出席者数：35名

幹事会議事録

議題：

1. 前回幹事会議事録の確認（担当：部会事務局）
岡山大学で行われた前回幹事会時事録が確認され、了承された。
2. 2013年度部会・分科会活動報告（担当：部会長、各分科会代表）
2013年度の部会および分科会の活動状況について報告され、了承された。
3. 女性・若手育成プロジェクトの実施報告（担当：西岡担当幹事）
綜研化学（狭山）で実施された「女性・若手育成プロジェクト」について報告され、了承された。
4. 2013年度決算について（担当：部会事務局）
2013年度の部会および分科会の決算（案）が示され、了承された。齋藤監事、脇屋監事の監査を受け、学会本部に提出することが了解された。
5. 2014年度予算について（担当：部会事務局）
2014年度の部会予算書が示され、了解された。
6. 2014年度部会・分科会事業計画（担当：部会長、各分科会代表等）
2014年度の事業計画、活動予定が示され、了解された。
鈴木担当幹事より IWPI2014 について説明があり、参加が呼びかけられた。
7. 部会賞規定見直し（担当：梶原副部会長、太田担当幹事）
部会賞（シンポジウム賞、技術賞、フロンティア賞、動画賞）に関する規約改定案が示され、説明がなされた。

【要点】

- ・ シンポジウム奨励賞は、過去の受賞者の再応募は認めない。
 - ・ 審査委員の選定の詳細については条文から外し、選考委員に一任とする。
 - ・ フロンティア賞 [第一条]
 - (現)特に優秀な研究論文に対して「フロンティア賞」を設け、…
 - (改)特にフロンティア性の高い優秀な研究論文に対して「フロンティア賞」を設け、…
 - ・ 運営上の細目については「部会幹事会で審議、総会で決定」となっていたが、「部会幹事会において審議、決定」とする。
- 改定案が了承され、総会に諮ることとなった

8. 部会セミナー（担当：後藤副部長）

次回部会セミナーを化学工学会80年会（平成27年3月関東予定）の前日に開催すること。部会賞の受賞に講演を依頼することが提案され了承された。

9. 化学工学会年鑑執筆、化学工学会誌・小特集企画執筆（部会長より）

化学工学会誌編集委員会より「化学工学年鑑2014」および「化学工学 学会活動最前線」の執筆依頼があったことが説明された。

- ・ 「化学工学年会2014」については各分科会長に執筆候補者を選定することが依頼された。
 - ・ 「化学工学 学会活動最前線」については上ノ山部会長、梶原副部長、後藤副部長がオーガナイザーとなり「震災復興への粒子・流体プロセス工学的アプローチ」のタイトルで小特集（15ページ程度）として寄稿することが提案され、了承された。
- なお、執筆候補者は上ノ山部会長、齋藤文良先生（東北大）、小山正史様（電力中央研）、椿淳一郎先生（名大）、竹田宏様（アールフロー）、本間熱物質流体工学分科会長、吉川ミキシング技術分科会長、後藤粉体プロセス分科会長の予定。

10. 粉体工学会との協賛（部会長より）

粉体工学会より「粉体工学会第49回技術討論会」への協賛依頼があったことが説明され、本部会として協賛することが了承された。

11. 部会事務局作業軽減案（部会長より）

部会事務局の負担軽減を目的に、業務の一部（名簿管理、請求書等発送業務）をパート事務員に委託することについて説明された。パート事務員を固定し、会長、事務局の指示のもと業務を行う体制をとることで、業務引継に伴う負担を無くし、部会事務局の負担を軽減する。

次年度は、パート事務員を横浜国大内（現会長、事務局所属）におき、次期会長、事務局の指示のもと業務を行う体制で試行することが了承された。

12. 次期役員・幹事体制（部会長より）

- ・次期部会長（任期：平成26年4月1日-平成28年3月31日）として梶原稔尚教授（九州大学、現部会副会長）が候補者であることが報告された。
- ・次期部会幹事体制案（副会長、幹事、企画幹事、監事、事務局）が提案され、了解された。

13. その他

事務局より、幹事会の開催時期の混乱を避けるため、名称を「〇〇年度年会幹事会」、「〇〇年度秋季大会幹事会」とすることが提案され、了承された。

以上

総会議事録

1. 2013年度年会幹事会における審議内容が報告され了承された。

2. 部会賞規定見直し

部会賞規定の改正案が示され、改正内容が認められた。

なお、最終的な規定文作成における軽微な修正は幹事会に一任するものとした。

3. 次期役員・幹事体制

- ・次期部会長（任期：平成26年4月1日-平成28年3月31日）として梶原稔尚教授（九州大学、現部会副会長）を選出することが決定した。
- ・次期部会幹事体制が示され、了承された。

以上